

真心と笑顔で走るあおぞら号！

# あおぞら

2019.05.19

みたかハンディキャブ交流誌 夏季号 Vol.138



協力：朗読ボランティア 《ういろうの会》

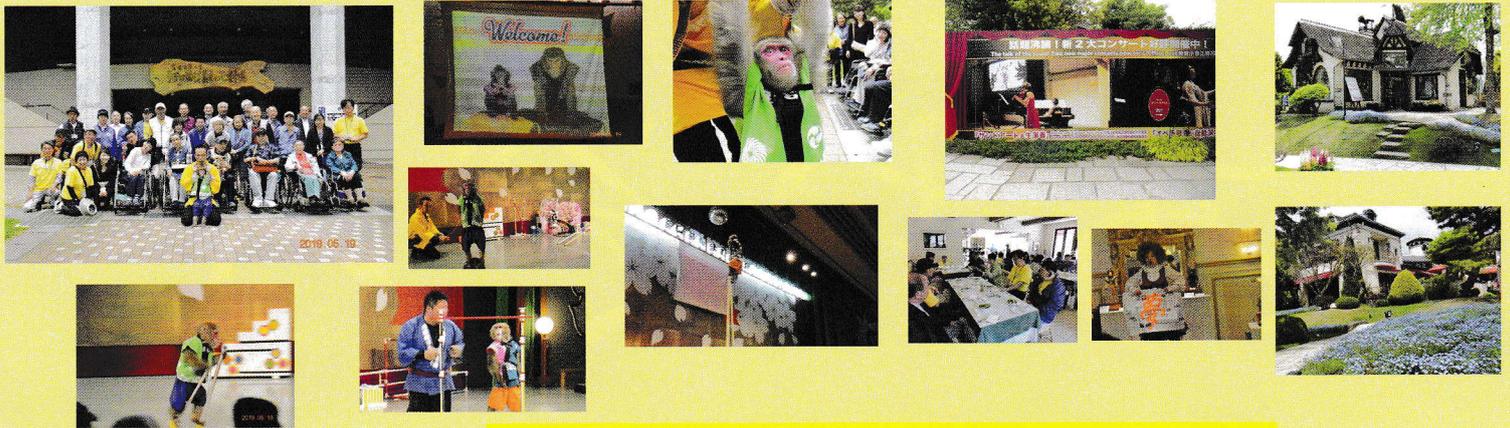
## 日帰り交流会

5月19日(日)、雨の予想を裏切って薄曇りの1日となり雨男も汚名挽回といったところ。利用者さん7組13人とボランティア19人の合計32人がいつもの武州交通盛田さん運転のバスに乗り込んだ。甲州街道、中央高速道路と渋滞もなく順調に進む。車の流れと同様に滑らかな沿線案内(自画自賛)に乗ってほぼ予定通りに大石公園到着。

残念ながら河口湖の対岸にそびえるはずの富士山の雄姿は全く見えず、しかたがないので日本各地の富士山の石をはめ込んだモニュメントの前で記念撮影。あたふたと猿まわし劇場へ移動して、絶妙の語り口のさるまわしを楽しみ、終了後には外でお猿さんとの記念撮影のおまけつき。花曇りの中をオルゴールの森美術館まで車いすを押しての移動。少々涼しい外気の中、新緑の景色を楽しみながら移動する。

オルゴールの森美術館ではまず腹ごしらえ。しゃれたカフェテリアでフレンチシェフの味を堪能。男性にはちょっとボリューム不足だったかな。食事の後は思い思いにコンサートや花いっぱいガーデンの散策を楽しんだ。ちょうど昨年春の一泊交流会で見損なったネモフィラが満開で、取り戻した気分。盛りだくさんの催し物にゆっくりとお土産を買う暇もなかったかもしれない。

忘れ物は思い出だけにして帰りのバスに乗り込む。買いそびれたお土産を購入するため談合坂SAに寄るまでは良かったが、そこから大渋滞。おかげで用意した歌集も存分に歌えて、渋滞も悪くないと感じた次第。運転手の盛田さん、ご苦労様でした。予定時刻を大幅にオーバーしての帰着となった。(加持記)



## キャブのボランティア活動

ボランティア活動推進協議会(以下推進協)の活動報告 2018年度

推進協は、市内のほのぼのネット、赤十字、民生委員、校長会、PTA、住協などの団体の代表15名くらいで構成しており、VO連絡協からは中館さんと坂本が参加しております。

定例会議は「全体会」と

①ボランティア要請・啓発にかかわる小委員会

②災害時支援に関わる小委員会

という二つの小委員会に分かれてほぼ隔月に交互に開催しています。

主な活動はVO活動の推進や災害時の対応に関する活動をすることです。具体的には 社協・VOセンターが実施する

\*「夏!体験ボランティア」

\*小・中学校の先生向けボランティア講座

\*練馬区防災学習センター見学

\*災害ボランティアセンター設置運営訓練\*福祉映画会

\*学校向けボランティア出前講座

以上のような活動について、協議、提言、参加協力を行ってきました。

また、社協の今後4年間の活動計画である「地域福祉活動計画VI」作りのための策定・作業委員会(地域支援部会、生活支援部会、啓発・組織強化部会、VO活動推進協議会+社協職員会+三鷹市で構成)に推進協からの派遣委員として推進協議長の萩本千恵子さんと坂本が参加。計画案作りのために検討、協議をしてきました。(3月で無事終了)

ボランティア活動や防災に対する意識関心をどう広げていったらいいか、なかなか難しいところです。まだ、もう1年、任期がありますので、これからも皆様のご協力を得ながら一步步前進させていきたいと思っています。(ボランティア活動推進委員会委員坂本昭雄)

# 2019年総会

4月21日（日）の午前10時定刻より平成最後のキャブ総会が出席者30人、委任状12人の定数を満たしていることを司会者久保氏により宣され開催された。宮田理事長の挨拶の後、清原慶子前市長をはじめ、来賓の方々よりみたかハンディキャブの総会開催への祝意、日ごろの活動への称賛と支援の意思、発展への期待などを込めたご祝辞を頂戴して議事に入った。

その後、第一号議案から第七号議案まで滞りなく全て満場一致の賛成をもって可決されて議事を終了した。尚、総会終了後、運転ボランティア定年を迎えられた坂本さん、望月さんおよび永年勤続表彰（30年）として伊藤（五）さん、阿部（好）さんに感謝状と記念品の贈呈を行った。



## 運行時の災害対応（運行要綱より抜粋）

みたかハンディキャブでは災害が発生したときには以下の対応をしますのでご承知おき下さい。

- \* 気象特別警報、気象警報が、運行する地域において発せられた場合、および不測の事態が発生した場合は、理事長および運行管理者の協議による判断で運行を中止する場合がある。また特別警報、警報が発せられていない場合においても運行が危険である場合には、理事長および運行管理者の協議により運行を中止することができる。
- \* 運行途上において地震などにより、運行が不可能になった際、利用者が同乗している場合、あるいは、同乗していない場合に関わらず、最も近い避難場所に避難し、ハンディキャブ事務局と連絡を取る。

## 新人紹介

### ・新明豊(しんみょうゆたか)さん

三鷹市深大寺在住の新明豊です。現在は渋谷区笹塚の介護老人福祉施設に勤めています。夫婦共働きでの子育て&両親の介護を卒業し、地域活動に参加していきたいと思っていたところ三鷹ハンディキャブの運転ボランティア募集の記事を市報で眼にして、微力ながらも運転ボランティアに加えて頂く事となりました。月に数回しか活動参加出来ませんがどうぞ宜しくお願い致します！



### ・渡部寛(わたべひろし)さん

現在 障害者のヘルパーをしております。車の運転と接客が好きなのでヘルパーの空き時間に出たらと思い登録させていただきました。子供が好きで 主に障害児のヘルパーを23区内でしているのですが 20年住んでいる三鷹市の障害児の子とは全く接した事がなかったので地元の子と出会えるのを楽しみにしております。まだ若輩者ですが運転が上手になりたいと思っておりますので 皆さんから沢山アドバイスを頂ければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



### ・中村雅樹(なかむらまさき)さん

4月よりみたかハンディキャブ会員として登録させていただきました。私は現在介護グループホームで福祉車両の運転業務に携わっております。業務経験を活かしハンディキャブ活動に多少なりともお役に立てるのではという思いで、参加させていただきました。3月の講習会では座学・実習を含め様々な観点から運転にかかわる実践的な知識を習得することができ感謝しております。今後とも先輩諸氏のご指導をいただきながら経験を積み、利用者様のお役に立てるよう努力してまいります。



# キャブの使い方

キャブ春・秋年2回の行事、春の日帰り交流会も無事に終わりました。次回の“あおぞら139号”には秋の旅行先をご案内します。

毎回交流会の候補地を選ぶ際多くの候補地が挙げられます。団体での行動ですので選定に苦勞をします。これを普段の個々の運行として行えば色々な所へ行けるとかと思えます。キャブの本来の設立目的の“外出のお手伝い”が出来ればそれに越したことは有りません。運転ボランティア不足で日々の運行にも窮している現状でどの様に運行が出来るかは検討中です。タダ“こんな場所が有りますよ”というご案内はできます。ご相談ください。

## 今後の行事予定・主催行事

- ☆2019年6月 2日(日) ボランティア募集ピラ配り (10:00駅前広場)
- ☆2019年6月 9日(日) 10:00理事会・13:30報告会 (上連雀分庁舎)
- ☆2019年6月16日(日) ボランティア募集説明会 (10:00上連雀分庁舎)
- ☆2019年6月22、23日 福祉有償運送運転者講習会
- ☆2019年7月18日 鷹のネットワーク大楽実習協力 (14:00上連雀分庁舎)
- ☆2019年7月21日(日) 10:00理事会・13:30報告会
- ☆2019年7月21日(日) 15:00安全運転講習会、暑気払い(会場未定)

## 編集後記

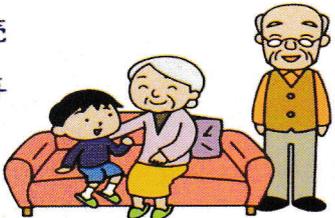
年号が令和に変わり、昭和は遠くになりけり。昭和生まれにとって2代前の明治はかなり昔といったイメージ。ということは令和生まれの人たちにとって昭和は遠い昔となるのだろうか。「むかしむかし、三鷹にハンディキャブというNPO組織があったとさ」と語られるようにみんなで良い組織となるよう令和の時代も頑張りましょう。

**株式会社**  
**サカイ・ヘルスケア**

私たち毎日の生活を支え、人を明るくする  
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日  
日曜・祝日  
年末年始



<サカイ・ヘルスケア三鷹店>  
三鷹市下連雀9-3-15  
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

## みたかハンディキャブ緊急連絡先

運行管理者／東垣 080-1102-7281

万一上記の連絡先で連絡が取れない場合のみ下記の連絡先へご連絡ください。

須山 080-2150-9696、野本 080-3256-8660、宮田 090-4833-3541



NPO法人 みたかハンディキャブ 交流紙  
発行 NPO法人みたかハンディキャブ交流部会  
〒181-0012 三鷹市上連雀8-3-10 三鷹市上連雀分庁舎  
TEL 0422-41-0185 FAX 0422-41-0274  
E-mail: mcab3@jcom.zaq.ne.jp  
http://mcab.jp  
発行日: 2019年6月7日